

右京区まちづくり運営方針



将来像・目指す姿

「誰もが自分らしく輝き、つながりの中で育む、安心して温かいまち」

右京区で「住みたい、住み続けたい」「子育てしたい」「働きたい」「学びたい」と誰もが心から思えるまちを目指す。これまでも右京区が大切にしてきた「温かい人々のつながり」「豊かな自然と文化」「暮らしやすさ」をさらに追求し、区民一人ひとりが地域の一員として「自分の居場所」と「活躍する出番」を見つけ、世代を超えて助け合い、共に未来を育む、そんな安心して活力あふれる地域社会を創造していく。

まちづくりの方向性（中期目標(令和8年度～12年度)）

区役所は、まちづくりの推進とともに、戸籍・住民票に関する住民サービス、保険・年金、福祉に関する業務など、区民生活を支える業務を日々丁寧かつ着実に提供することを使命としており、これらの安定した業務遂行が、安心して住みやすい右京区を形作る土台となっていることを改めて認識し、運営方針の中でもその視点を忘れることなく推進する。

安心安全

防災や防犯、福祉など、区民の安心・安全な暮らしを守る活動を支援するとともに、個人や地域生活における困難な課題をしっかりと受け止め、重層的な支援を展開する。

【自主防災活動や避難所運営活動の支援、重層的支援体制の充実・強化】

むすび・つながる

日々の様々な分野における相談や、区民をはじめ地域を構成する多様な主体と接する中で、ニーズや困りごと、まちづくりへの思いを受け止め、居場所や出番につながる交流の場づくり、つながりや支え合いを創出する。

【地域コミュニティHub、京都学藝衆構想の推進、重層的支援体制の充実・強化】

時代の変化に対応

時代の変化とともに変わり続けていく多様なニーズに的確に対応していくため、組織の垣根を超えたプロジェクトなど、柔軟かつ機動性、創造性のある組織づくりと職員育成を進めるとともに、DXを推進し仕事の在り方を不断に見直していく。

【SANSA交共プロジェクト、地域の多様な主体のネットワーク、地域コミュニティHub】

令和8年度 主な取組

令和8年度のまちづくりの方向性（方針）

区役所が、地域団体やまちづくり活動団体、企業・大学・医療機関等の右京ファンクラブ会員、大学生等が出会い、つながり、交ざり合う「結節点」となり、右京区が持つ文化・自然・産業などの潜在的な力を高め、すべての人に「居場所」と「出番」を創出できるよう取組を進める。

① 地域防災や市民生活の安心・安全の取組

○ 区民による自主的・主体的な地域防災の取組に加え、学生を対象とした啓発を進める。（例：京都先端科学大学の学生・留学生を対象に、災害発生時の対応を学ぶ目的で、起震車、消火器体験に加え、防災クイズ等の取組を実施。）

○ さらに今年度は、地域の防災力向上のため、自主防災会と連携して「右京ファミリー防災フェスタ」を実施し、ファミリー層の防災意識を高め、自主防災組織の取組の強化を図る。

② 「みんなでつくる右京」の推進

○ 区役所が、地域団体やまちづくり活動団体、企業・大学・医療機関等の右京ファンクラブ会員、大学生等が出会い、つながり、交ざり合う「結節点」となり、すべての人に「居場所」と「出番」を創出する取組を進める。

○ 区役所の公共空間等を活用し、右京区のまちが育んできた文化・芸術、祭り、スポーツなど幅広い分野の担い手による多様な魅力に触れ、学び合う機会を提供する（京都学藝衆構想）。これらの取組と地域コミュニティHubの推進により、右京区の潜在的な力を高め、区民の交流を深める。

③ 子ども職業体験事業

○ 私たちの暮らしを支える職業を体験する「こどもシゴト博@右京」を通じて、子どもたちに、働くことの意義や社会の仕組みを学んでもらうとともに、身近にある幅広い職業やその魅力を知ってもらう。また、その経験により、子どもやその保護者が地域への関心を深め、右京区に住みたい・住み続けたい、働きたい・働き続けたいと感じてもらおう。

④ 右京子どもの未来応援事業

○ 赤ちゃん訪問や乳幼児健診等の機会を活用し、子育て支援団体の情報に触れやすくすることや、地域での子育て支援や見守りの中心となる右京子どもはぐくみサポーターとの交流の機会を増やしていく。また、地域の子育て支援施設等と公共空間を活用した取組（「あったか子ども広場（仮称）」）を実施するなど、地域に根差した子育て情報の発信と連携で、地域全体で子どもを育むまちづくりを目指す。

⑤ きらっと輝く地域コミュニティ再生事業

○ 多様な地域の特性に即した地域活動の推進に向けた、自主的な地域活動を支援する。
○ 水尾・宕陰・京北の北部山間地域において、各地域が主体となって「地域コミュニティHub」として連携し、空き家情報の収集・発信や各種イベント等の取組により、U・Iターンの促進や関係人口の創出につなげる。

令和8年度 主な取組

①京北地域コミュニティ Hub の推進

これまで京北のまちづくりを進めてきた「京都京北未来かがやきビジョン推進会議」から新たなステージへと進むこととなり、「京都基本構想」の理念を京北の地で具現化するため、地域の皆様が主体的にまちづくりに参画できるよう、新たなメンバーを加え、地域内外の団体や事業者等との連携も見据えた「京北地域コミュニティ Hub」を新たに設置する。「多層的でゆるやかなつながり」でありながらこれまで以上に顔の見える協力関係を形成・促進する会議体を新たに設置する。6地域が「一つの京北」としてのまとまり意識を醸成するとともに、集落形成を維持するための人口維持を目指し、U・Iターンの促進や関係人口の創出に取り組む。

②京北子どもフェスタ「ミニ京北」(仮称)の実施

少子高齢化と人口減少に直面する京北地域において、未来の担い手を育成し、持続可能な発展に取り組む。各種団体や事業者等と連携して実施し、子どもたちの地域への愛着を育み、多世代交流によるコミュニティの活性化を図る。これにより、防災力の強化、新たな魅力の創出、U・Iターン等の促進に繋げ、京北地域一体での発展を追求する。

③未来かがやく京北地域活性化推進事業の実施

未来かがやく京北地域の活性化に向けた取組の推進として、京北地域の魅力を掲載したマップ作製等による情報発信を実施する。

④京北地域活性化支援事業の実施

京北地域に伝わる盆踊りを地域内外の人に体験してもらい、伝統文化として後世に継承していく取組や、「京北ふるさとまつり」などのイベントを通じて、京北住民の交流はもとより、京北地域外からの関係人口の増加及び京北地域への移住（Uターン・Iターン等）等を促進する。また、花と緑で満ちあふれたまちにする「花降る里けいほく」プロジェクトにおいて、花の植栽や京北の桜の名所PRに取り組む。